

# 平成27年 迎春 新年のごあいさつ



荒尾市議会議員 迎 五男



荒尾市長 前畑 淳治

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃より市議会の運営に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は師走に衆議院議員総選挙と荒尾市長選挙が行われ、私たちはこれからの舵取り役を選びました。年金や医療といった社会保障制度の維持や財政再建など解決困難な課題が山積しています。しかし、将来の子どもたちが明るく希望の持てる、そうした社会の建設に立ち向かう姿を国・地方ともに期待したいと思えます。

「地方の人口減少が深刻化し、将来消滅する可能性の高い自治体が日本全体の約半分にも上る」との内容を日本創成会議が昨年発表しました。都市部へ若者が流出し、地域が維持できる限界を超えているというものです。そうならないためにも、私たちはそれぞれの地域を持つ魅力を掘り起し、守り育てる活動を今後とも続けていく必要があると思えます。

荒尾市には万田坑や荒尾干潟などの他にも、地域で活躍されている人の宝もあります。こうした方々を中心として、市内各所

荒尾市議会議員 迎 五男

にある荒尾のさまざまな魅力の一つにまとめ、市民みんなで「荒尾の魅力」を作り上げ、育てていくことが、荒尾市がこれからも「ふるさと荒尾」として輝いていける道なのではないかと思えます。

ことし4月に行われる統一地方選挙で私たち市議会議員も改選を迎えます。定数が現在の22人から18人になりますが、18人それぞれが地域の課題を市民の皆様と共有し、解決に向かっていろいろな施策を考えていきます。そして、その施策を実施する荒尾市行政が「市民生活の向上と市政の発展」という道から外れないように、議会という場を通じてしっかりと監視し、協議を行っていきたく考えます。

ことしも市民の皆様が健康で安心して暮らし続けることができるまちづくりに努力して参る所存です。どうか本年も議員活動と議会運営にご理解を賜りますようお願い申し上げます。

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、広島での土砂災害や長野県にある御嶽山の大規模な噴火災害など多くの自然災害が発生し、各地に大きな爪痕を残しました。

そのような中、荒尾の宝であり、世界の宝である「万田坑」が政府から世界遺産候補として推薦され、昨年10月にはイコモスによる現地調査が実施されました。昨年は、市民の皆様や関係団体を中心となって、「万田坑周辺の清掃活動」、「万田坑フェスタ」が行われ、ことしは「世界遺産シンポジウムin三池」を予定しています。市民の皆様と一緒に機運を高めていながら、ことし6月頃の世界遺産登録を目指してまいります。

他にも荒尾には世界に誇る宝がたくさんあります。ラムサール条約湿地に登録され、デジタルセンターが現実化した「荒尾干潟」、孫文との絆が礎となり、昨年は中国上海市で「孫文と宮崎滔天企画展」を開催した「宮崎兄弟の生家」などがあります。これらの宝を一過性のものではなく、継続して輝かせ続けるために、皆様と一緒に盛りに

荒尾市長 前畑 淳治

上げていくことが重要になってきます。

「有明海沿岸道路（Ⅱ期）」は関係団体の皆様のおかげで、また一歩、大きく前進いたしました。この路線は、定住促進や地域振興を進めていく上で核となるものです。競馬場跡地活用と一体になって取り組んでまいります。荒尾市民病院につきましては、施設の老朽化が著しいことから「新病院建設基本構想」を策定し、建て替えに向けて動き始めたところです。

有明高校陸上部の全国高校女子駅伝大会の初出場や荒尾高校ラグビー部の7回目の全国大会出場などスポーツでの活躍など昨年は明るい話題もたくさんありました。

ことしも直面する課題と真摯に向き合いながら、子育て支援や高齢者の健康など市民生活の向上に努め、市民が幸福を実感できる「しあわせ 優都 あらお」の実現を目指したいと思えますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。本年も皆様にとりまして、素晴らしい年でありませうよう祈念申し上げます。素直に新年のごあいさついたします。